

様式1号  
(総括票)

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	京セラ株式会社 (旧 京セラクリスタルデバイス株式会社 長野岡谷事業所)							
代表者名	氏名	谷本 秀夫	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町6							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業						
主たる事業の概要	電子部品製造業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	1,936	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	0	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

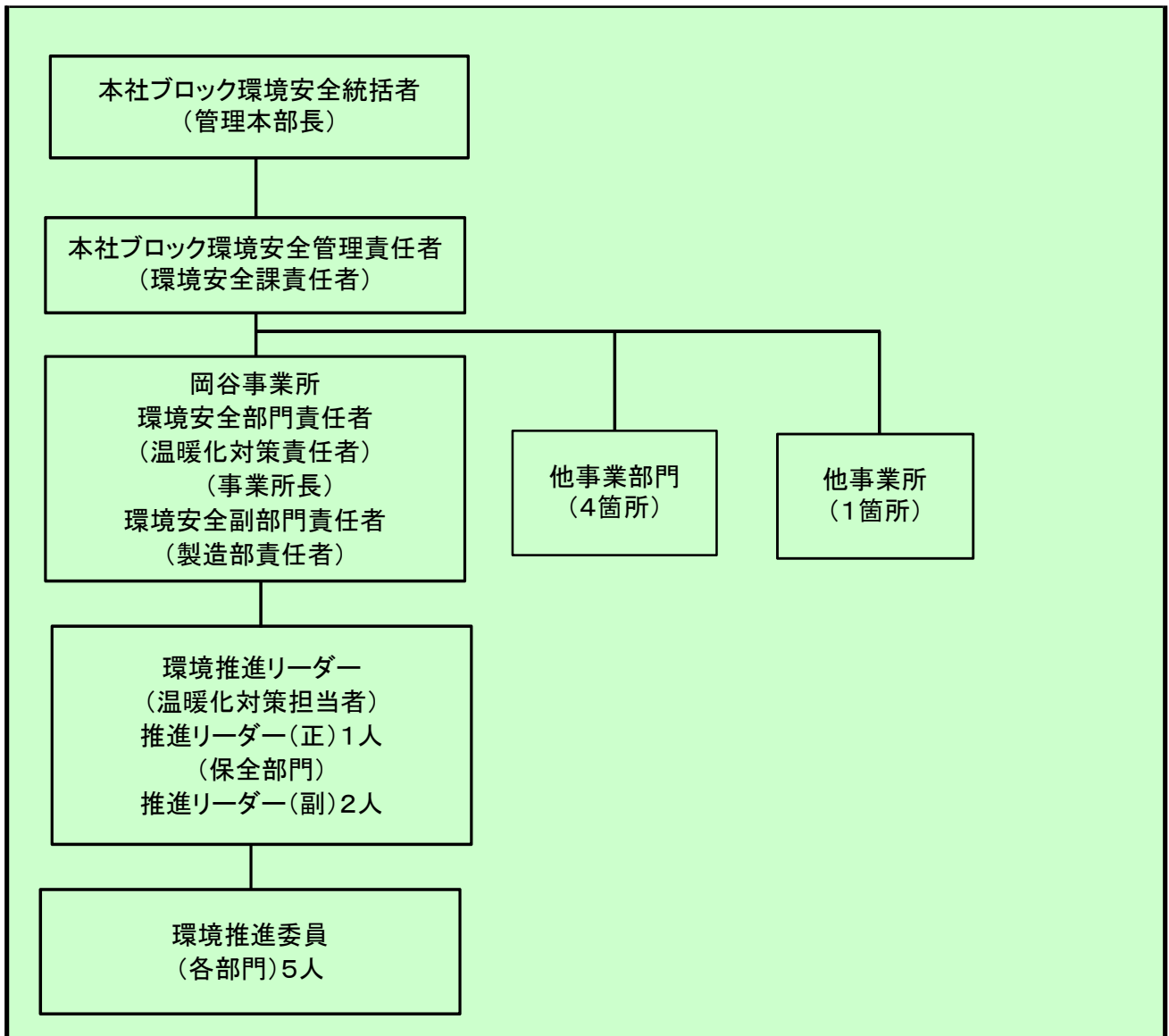
<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	京セラクリスタルデバイス(株)長野岡谷事業所 事務所 閲覧可能時間10:00～12:00、13:00～17:00 連絡先0266-27-2276
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

京セラクリスタルデバイス㈱より示される環境目標に従い、事業所の環境保護推進計画を定め、進捗管理を行う。

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	4,021	t-CO <sub>2</sub>	総生産金額	2,775	単位	百万円	
25年度	調整後排出量	2,996	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	1.45	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	
目標年度	目標排出量	3,900	柳 清	目標原単位	1.41	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	FY2015環境目標設定1%の原単位削減が目標です、3年間で3%の削減を目標としました。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,064	t-CO <sub>2</sub>	総生産金額	3,183.20	単位	百万円	
	調整後排出量	4,035	t-CO <sub>2</sub>	原単位	1.28	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率	(1.07)	%	削減率	11.72	%		
排出量等の増減理由	生産が増加したためです。							
第二年度	排出量	4,105	t-CO <sub>2</sub>	総生産金額	3,137.74	単位	百万円	
	調整後排出量	4,083	t-CO <sub>2</sub>	原単位	1.31	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率	(2.09)	%	削減率	9.65	%		
排出量等の増減理由	生産数量の増加のためです。							
第三年度	排出量	4,070	t-CO <sub>2</sub>	総生産金額	2,466.82	単位	百万円	
	調整後排出量	4,041	t-CO <sub>2</sub>	原単位	1.65	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率	(1.22)	%	削減率	(13.80)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	会社統合に伴う原単位の分母の変動により原単位が増加しました。							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	380701照明設備の運用管理	26	1		
2	エネ起	360703コンプレッサーの運転管理(1台目)	27	25		
3	エネ起	360703コンプレッサーの運転管理(2台目)	28	25		
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	1,025		29	22	29
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,021	1	4,064	1	4,105	1	4,070
1,500k1未満								
合計	1	4,021	1	4,064	1	4,105	1	4,070

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	0	0	0	0
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率97%
公共交通機関の利用促進	出張・外出時の公共交通機関の利用推進。
来客者の交通対策	構内制限速度15km以下。
物流の合理化	

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	1996年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	緑のカーテン取組（南側窓前に植物を植える）でエアコン運転電力の削減を行う。
第一年度実績	緑のカーテン取組（南側窓前に植物を植える）でエアコン運転電力の削減を行う。
第二年度実績	緑のカーテン取組（南側窓前に植物を植える）でエアコン運転電力の削減を行う。 空調温度を帳票に記入して管理する。
第三年度実績	緑のカーテン取組（南側窓前に植物を植える）でエアコン運転電力の削減を行う。 空調温度を帳票に記入して管理する。

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み		
その他	省エネパトロールを実施し、消費電力削減に努める。	